

2025年8月14日

各 位

会社名 株式会社Speee
代表者名 代表取締役 大塚 英樹
(コード番号：4499 東証スタンダード)
問合せ先 取締役CFO 西田 正孝
(TEL. 050-1748-0088)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年11月14日の2024年9月期通期決算発表時に開示した2025年9月期（2024年10月1日～2025年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2024年10月1日～2025年9月30日）

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期 純利益
前回発表予想（A）	百万円 18,010	百万円 0	百万円 △0	百万円 △614	円 銭 △57.53
今回修正予想（B）	16,350	△750	△736	△878	△78.38
増減額（B－A）	△1,660	△750	△736	△263	
増減率（％）	△9.2	－	－	－	
（参考）前期連結実績 （2024年9月期）	15,722	537	594	244	22.94

2. 修正の理由

当社は前回2024年11月14日に発表した2025年9月期の連結業績予想について、第3四半期までの進捗状況と第4四半期以降の見込みを元に通期見通しを精査した結果、営業利益が当初予想を下回る見通しとなったため、前回発表した業績予想の修正が必要であると判断いたしました。

・売上高について

上期においては概ね計画どおりに進捗しておりましたが、下期はレガシー産業DXのユーザー獲得数、DXコンサルティングの顧客数が計画に対し未達となる見込みであり、両セグメントの売上高が計画を下回る見込みとなりました。

・各段階利益について

売上高と同様に第3四半期が計画を下回る結果となり、第4四半期も同様の傾向である見込みとなりました。

レガシー産業DXにおいては、ユーザーの検索行動の変化に伴う集客効率の悪化により、前年同期比で広告宣伝費率が上昇し、DXコンサルティングは売上高の未達にもとない各段階利益も未達となる見込みとな

りました。これらの要因により、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正するに至りました。

なお、金融DXへの投資は順調に進捗しております。今後も金融DXをはじめとするグループ全体の中長期的な成長投資を行い、売上・利益の拡大を図ってまいります。

※上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上